

Governor's Monthly Letter

Rotary International
District 2800 2018-2019

ガバナー月信 003

ガバナーズ・ヴォイス | 青少年交換学生(来日学生)紹介 | 青少年交換学生の思い出を語る
今年度の各委員会の活動方針② | 上林ガバナー公式訪問記
上林ガバナー表敬訪問デイズ | 米山奨学生から届いたメール | 私が山形の親代わり!
青少年交換学生マンスリーレポート | 新入会員・表彰・お知らせ | 9月のスケジュール

9 [地区方針・目標] ロータリーの原点に戻ろう

September | ガバナー月信第3号・2018年9月1日発行



インスピレーションになろう
BE THE INSPIRATION





基本的教育と 識字率向上 月間にあたって

国際ロータリー 2018-2019 年度
第2800地区ガバナー

上林直樹 *Naoki Kanbayashi*

※9月は「基本的教育と識字率向上月間・
ロータリーの友月間」です。

15～ 16年ほど前、私が酒田工業高校PTA
会長の時に、アメリカ、デトロイトのハイ
スクールの校長先生が私の家で3日間のホームステイ
をしながら、日本の教育現場に視察に訪れました。

「どうして日本に来たのですか？」と尋ねたところ、「私のハイスクールに“マツダ”に父親が勤めている子供さん2名が入学してきたが、知識の豊富さにとても驚いた。日本はいったいどんな国なのかとネットで調べたがよく分からなかった。実際に自分の目で日本を見てみたいと思って、ほかの教育関係の人たちと一緒に日本に来た」との話でした。

日本は世界の他の国と比較して教育レベルの高い国であり、これは264

年続いた江戸時代に、武士は藩校で、商家・農家の子どもたちも寺子屋で教育を受けており、当時、教育識字率は世界一だと言われていました。

アメリカのハイスクールでは、日本のように実業校はなく、大学に入学してから工業系、文科系などに進むそうです。ドイツは日本と同じで高校時代から実業校(マスター制度)があるそうです。

校長先生を私は早速、工業高校の授業や設備の見学にお連れしましたが、特に設計室のCADの授業を見てひどく驚いておられました。

アメリカでは州による銃の保持と規制の問題、また治安の低さにより子供でもナイフや銃を持って学校に通うような社会の現実。そして毎年何百人も犠牲にな

る銃の乱射による事件が頻繁に起きている現状があります。校長先生の学校では、出入り口2か所に金属探知機があり、24時間カメラで子供たちの出入りをチェックしていると、暗い顔で話をされました。

しかしながら、近頃の家庭教育、社会教育の水準に目を覆いたくなります。例えば、A. 子供の食事のマナー ①両肘をついて食事をする子供 ②茶碗に付いたご飯つぶを残す子供 ③口に食べ物を入れて大きな声で喋る子供 2. 大人の食事のマナー ①手皿を使う人 ②箸の使い方が美しい人 ③バイキングで食べきれないほど皿に盛る人、そして平気でそれ

残す人 ④洋食の際にナプキンをきちんと折りたたんで帰る人 ⑤料理

屋や寿司屋等で最後に「おあいそ!」という人

私たちがロータリアンは、自分自身を正すとともに、家庭ではお子さん、お孫さん、職場においては部下や後輩にこれらのマナーをしっかりと教える必要があると思います。礼節や躰といった言葉がすでに死語になったかと感じる場面を私はしばしば目にします。

東日本大震災の大惨事の中にあっても、整然と順番を待つ日本人のマナーに世界中の人々が驚きました。最近では、W杯の日本人サポーターによる観客席のゴミ拾い、選手たちがロッカールームをきれいに掃除をして帰ったこと等が高い評価を受けました。日本人の誇るべきDNAを次の世代に引き継ぐのも日本のロータリアンの使命であるやと考えます。

●2018-2019年度 | 青少年交換学生(来日学生)

2018～2019年、上林直樹ガバナー年度の海外からの青少年交換学生(来日学生)をご紹介します。
5名の来日学生たちは7月末から8月にかけて到着

し、各スポンサークラブのサポートのもと、ホストファミリー、受入れ学校の協力をいただきながら、実りある国際親善交流の日々を元気にスタートさせています。



ウェバー・コンスタンチ
Weber Constance
寒河江高等学校
スポンサーRC / 寒河江RC
出身国 / フランス



ナオミ・チエミ・ヒロセ
Naomi Tiemi Hirose
寒河江高等学校
スポンサーRC / 大江RC
出身国 / ブラジル(クリチバ)



コラン・マルソー
Colin Marceau
羽黒高等学校
スポンサーRC / 酒田湊RC
出身国 / フランス



テイラー・マリエ・ジェンキンス
Taylor Marie JENKINS
羽黒高等学校
スポンサーRC / 鶴岡西RC
出身国 / アメリカ(ネバダ)



フェイ・マリエ・ファール
Fay-Marie Fahl
東桜学館高等学校
スポンサーRC / 東根RC
出身国 / ドイツ

青少年交換学生(来日学生) / 青少年交換学生の思い出

青少年交換学生
の思い出を語る



見つけられなかった
牧場からの南十字星

第2800地区顧問
酒田中央ロータリークラブ
加藤 実 Minoru Katoh

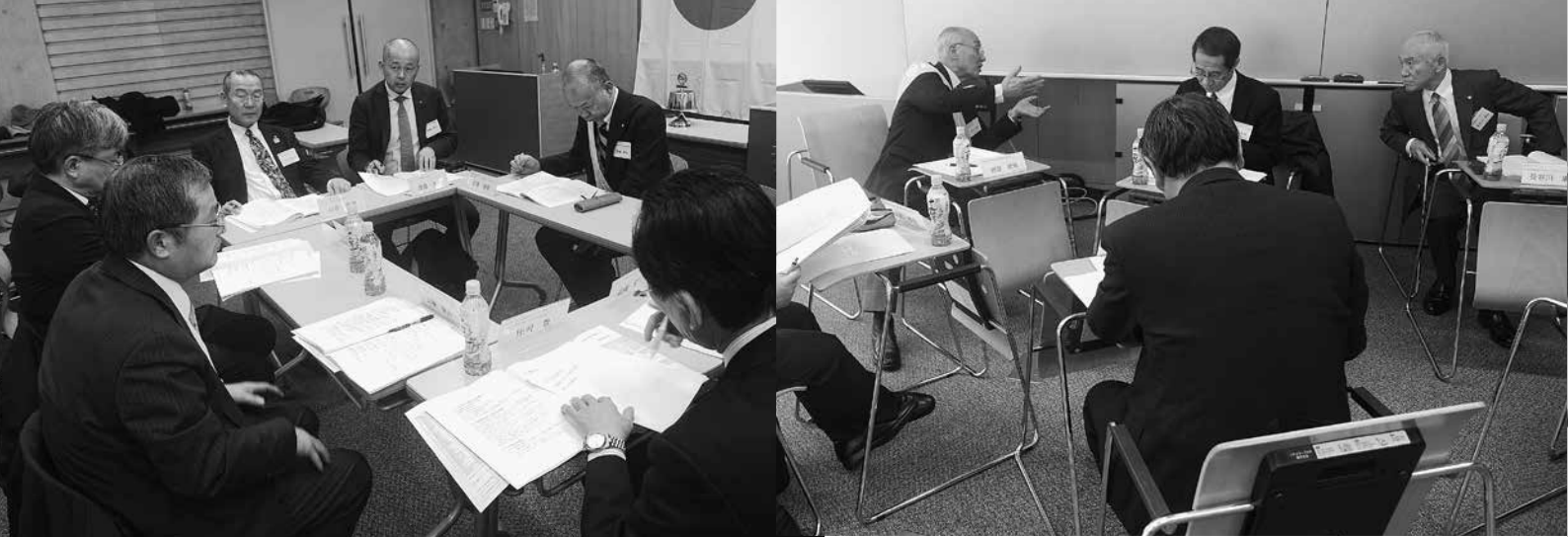
ガバナー月信をテーブルの上に無造作に置いていたのを高2の娘が見て交換プログラムを知り、行きたいと言い出したのがきっかけでした。入会まだ3年目の私は青少年交換について何も知らず、メンバーの子どもは派遣できないと思っていました。地区の委員に詳しく教えてもらい、福島での試験に娘が合格しオーストラリアに派遣が決まりました。

娘と交換に日本に訪れたミッシェルを私が最後の

ホストとなり、1年の留学を終えて帰国する彼女と一緒にいこうかと冗談に言ったことが現実となり、3月に帰国するまでの娘の様子も見たいと親バカが出てオーストラリアに行くことになりました。

ミッシェルの家に2日宿泊し、スポンサークラブの例会にも出て、娘のホームステイ先まで3時間かけて車で送ってもらいました。これまで何人も留学生を受け入れているクラブでも、学生と親が2人で出席した例会ははじめてだと皮肉まじりに紹介され、そして多いに歓迎されました。

羊と牛の広大な牧場を経営する4番目のホストから夜にトラックの荷台に乗せてもらい、牧場内の野性動物と満天の星空の観察に連れて行ってもらったことがいまも目に浮かびます。残念ながら南十字星は見つけられませんでした。必ず再訪するからとメンバーたちと固い約束をして別れ、それがいまだ実現できていないことが心残りです。



今年度の各委員会の活動方針 | その②

各委員長から今年度の重点的な活動方針を聞く2回目。
ロータリー活動のベクトルが少しずつ変化しつつあるように感じます。

ライラ小委員会 (青少年奉仕委員会内)

LINEを使って意見交換を行い、
委員同士での共通認識を持ちたい。



ライラ小委員会委員長
後藤洋一 *Youichi Gotoh*
[鶴岡南ロータリー]

次世代リーダーの育成を主要テーマとしてライラ事業を実施いたします。前年度の寒河江でのライラ事業は鈴木直前ガバナー、遠藤大委員長の情熱のもと、大変内容の深いものとなりました。私自身ライラは4年目ですが、私が考えても中身の深さでは到底及ばないことから、各方面からお知恵を拝借して内容を高め、自分自身も成長したいと考えます。

前年度と同様にライラ委員会が主体となって事業を実施します。各委員と共通認識を持ちながら進めていきたいと考えておりますが、県内各地からミー

ティングに参加することは時間と労力を要します。このため、各ライラ委員とLINEでのネットワークを構築し、LINEで意見交換できることと、顔を合わせたミーティングを使い分けながら、それぞれの負担を軽減したいと考えています。

大会には大変な体力を要することから、各ブロックに1名以上のライラ委員をお願いしています。今年度は私も入れて計7人での活動となります。ぜひとも各委員を引き立てていただき、ご協力をいただきますようお願いいたします。

青少年交換・学友小委員会 (青少年奉仕委員会内)

社会に影響をもたらすプロジェクトに力を注ぎ、
奉仕のスケールアップを助長したい。



青少年交換・学友小委員会委員長
今間勝見 *Katsumi Konma*
[鶴岡西ロータリー]

今年度の青少年交換・学友小委員会は鈴木年度で選考いただいた5名の派遣学生と5名の来日学生が実り多い留学生活ができるようスポンサークラブとホストファミリー、地区ロータリアンの力をお借りて支援していきたいと考えています。

また、今年度の目標として4名の派遣学生を送り出したいと考えています。さらに今年度は多地区合同スプリングキャンプが当地区で開催されます。候補学生にとって有意義なプログラムを計画しています。本年度も当委員会に対する多くのロータリアンの皆さまのご

理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

世界におけるロータリーの役割をこれまでとは違う角度でとらえる必要があります。公共イメージに重点を置き、ソーシャルメディアを活用して会員基盤を築き、奉仕のスケールアップを助長してくれるパートナーに注目する必要があります。持続可能な影響をもたらすプロジェクトに力を注ぎ、ロータリー年度や任期を超えた活動計画を考える必要があります。大切なのは前向きな変化を生み出し、私たちが直面する課題に勇氣と希望、創造性をもって向かい合うことです。



写真は、2月18日に酒田市の東北公益文科大学を会場として行われた「第2回地区チーム研修セミナー」。左からクラブ奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、そして米山奨学・学友委員会のディスカッション。

社会奉仕委員会

熱い気持ちをいつまでも忘れることなく、一年間の私の仕事を果たしていきたい。



社会奉仕委員会委員長
菅原成規 *Seiki Sugawara*
[鶴岡ロータリー]

上林直樹ガバナー年度がいよいよ始まりました。4月の地区研修・協議会においても発表させていただきましたが、社会奉仕委員会では大きく次のような方針で活動をしていきたいと思えます。

①地区補助金の活用 ②地区災害等救援特別基金の活用 ③他ボランティア団体との協力推進 ④イメージ向上活動を積極的に行う ⑤ロータリー希望の風奨学金制度の周知

はじめて委員長の大役をいただき、上林年度が始まる4月に地区補助金の審査会、6月には東日本大震

災避難者支援等事業の審査会に参加させていただきました。申請書には各クラブそれぞれの熱い気持ちがしたためられ、私自身感動しながら審査をさせていただきました。この熱い気持ちをいつまでも忘れることなく、多くのロータリアンとともに社会奉仕委員会としてさらに有意義な活動を実践していきたいと考えています。

一年間、委員の皆様のご協力とご支援をいただきながら、委員長としての私の仕事を果たしていきたいと思えます。よろしくお願ひ申し上げます。

国際奉仕委員会

地元在住の外国人と積極的な交流の機会を得ることから、国際奉仕活動は始まる。



国際奉仕委員会委員長
川田季彦 *Toshibiko Kawada*
[酒田東ロータリー]

上林ガバナーからの要望と期待として、「グローバル補助金の理解と推進」が挙げられています。皆様に海外での奉仕や支援事業を積極的に行っていただきたいということです。国際奉仕活動を行うには支援する国のニーズや問題点を知ることが必要です。米山留学生、交換留学生、ALT、地元在住の外国人との積極的な交流の機会を設けていただくことをお願ひします。また、委員会では、ロータリー友情交換事業(Rotary friendship Exchange)の周知に努め、海外のロータリアンとの連携から、奉仕活動に発展していけるように支援していき

いと考えています。

国際奉仕活動は長期間にわたり成果を出す継続事業となることが求められます。その活動資金としてグローバル補助金があります。その活用にはロータリー財団委員会と相談しながら進めていただくようお願いいたします。また、地域奉仕グループカウンセラーの長谷川憲治PGからは、「価値ある奉仕活動に、みんなで汗を流して取り組んでほしい」という期待が寄せられています。ロータリアンがパフォーマーとなり、ロータリーの公共イメージの向上につながっていくことを願ひしています。

昨年度の2月18日に酒田市の東北公益文科大学を会場に「第2回地区チーム研修セミナー」が開催されました。

米山奨学・学友委員会

米山奨学事業の大きな意義をアピールして、理解いただくことが寄付の促進につながる。



米山奨学・学友委員会委員長

田中隆一 *Ryuichi Tanaka*

[米沢ロータリー]

今年度の米山奨学・学友委員会の活動方針として下記の項目を上げます。

① サブ世話クラブ制度／今年で3年目となるが問題点等を改善して継続する。② 米山卓話の推進／米山奨学・学友委員をはじめ奨学生の卓話依頼にも応じる。③ 世話クラブの促進／世話クラブを受諾してもらえよう米山奨学事業の意義と情報を各クラブに周知をはかる。④ 米山学友会運営への支援／歓迎会時に奨学生を学友会に登録する。卒業後に県外転出の奨学生とはHPやメール等での情報交換をは

かる。⑤ 米山奨学事業の理解促進／地区行事等で米山奨学事業をPRし、米山功労者を称える。ガバナー月信で奨学生や地区委員を紹介いただき、ロータリーの友には関係者が記事を投稿する。⑥ 奨学生の選考とフォロー／指定校の選定、選考試験の実施。オリエンテーション、歓送会、ホームカミング、学友会との懇親会等を開催する。⑦ 寄付の促進／最下位直前の全国順位を引き上げるためにも、最終目標である地区一人当たり年間寄付額15,000円の達成を目指して最大限の努力を重ねる。

ロータリー財団委員会

次代のロータリーの姿を見つめて、若い活力ある人材を広く求めている。



ロータリー財団委員長

新関彌一郎 *Yaichiro Niizeki*

[天童東ロータリー]

財団委員長は3年委員で2年が過ぎました。ロータリー財団への寄付は、ロータリーへの理解に比例し、加えてロータリーが少し好きになると寄付がさらに増える傾向にあります。2800地区財団委員会は会員個人に合ったムリのない寄付を進めています。

財団寄付地区目標は会員一人年間\$150です。年間その額を出せないというロータリアンはいないはずですが、それでも目標に到達しない理由は「目標を定めることに違和感がある。寄付は自由意思のはずだ」「国際ロータリーは財団に乗っ取られた」「ロー

タリーの理念とは合わない」「寄付の使われ方が明確でない」「寄付をするためロータリーに入会したのではない」「強要するのは問題だ」など、いろいろな意見と感情が邪魔をしているようです。

このような誤解と感情を少しでも和らげようとした2年間でした。そこで今年は、喜んで寄付ができるよう、世界のなかにあって私たちの寄付金がどのように役立っているかを伝えることに重点を置きたいと思います。財団に寄付することがロータリアンとして楽しみの一つとなれば最良です。

ロータリー財団学友小委員会

地区内の学友の情報をしっかりと把握して、将来のロータリー候補者として認識する。



ロータリー財団学友小委員会委員長

伊藤明彦 *Akihiko Itoh*

[山形北ロータリー]

1947年以来、ロータリー財団プログラムの奨学金や補助金を受領した人は125,000人以上に上ります。プログラムの元参加者は、ロータリーによる奉仕の領域を広げるだけでなく、財団の力強いサポーターとなり寄付見込者ともなります。

このため地区財団委員長がロータリー財団学友(以下、学友という)との関係を維持し、ロータリーへの参加を促すことが重要となります。即ち学友は将来的に有力なロータリアン候補者となり得ます。

このように地区が学友との関係を緊密に保つことは

地区のロータリー活動にとって大いに有意義で、なおかつ重要なことです。しかしながら、最近の第2800地区においては必ずしも学友との関係が緊密に保たれている状況ではありません。

本年度は各クラブからご理解とご協力をいただきながら、地区内の学友の情報を収集して学友の存在を把握するなど、将来の学友会の結成等を見据えた礎となる年度とすることを目指したいと考えています。ロータリーの明日へと繋がっていく大いなる一年を活動目標に、何卒よろしくごお願い申し上げます。

このセミナーでは、今年度の各委員会による活動計画指針・活動計画が具体的に検討されました。

ロータリー財団 補助金・奉仕プロジェクト小委員会

各クラブは従来の視点を大きく変えて、グローバル補助金の申請に挑戦してほしい。



ロータリー財団
補助金・奉仕プロジェクト小委員長

和田 實 *Minoru Wada*

[米沢ロータリー]

「未来の夢計画」による地区補助金制度がスタートして6年目を迎えます。この間、地区補助金に関しては例年各クラブより予算額を大幅に超過する申請があり、申請額を下回る額の補助しかできない状況であります。今年度も28件の申請をいただき、従来の配分方針に沿って各案件への配分を完了しました。その後、ロータリー財団での手続きを経て上林年度スタート後の8月中下旬には、各クラブへの送金もすでに完了されています。

グローバル補助金は、海外RCとの連携が必須で

あること、また、用途が財団の重点分野に限られること等の制限が壁となり、同一プロジェクトに対する2回の実績しかなく、予算を消化することができない状況となっています。

今年度は各クラブが視点を大きく変え、世界で奉仕するロータリーらしい海外展開をぜひ検討いただくようお願いする次第です。グローバル補助金の申請は地区補助金の申請とは異なり、申請時期に制限がありません。関心があれば、委員会として各クラブに出前卓話に伺う予定でおります。



各委員会ごとに行われた分科会でのディスカッション。
写真左から青少年奉仕委員会、ロータリー財団委員会。
酒田市の東北公益文科大学の各教室において。

ロータリー財団資金・管理小委員会

一年間一人150ドルの寄付目標を再度、各クラブで再度確認をいただきたい。



ロータリー財団資金・管理小委員会委員長

赤谷典夫 *Norio Akatani*

[酒田スワンロータリー]

前年度に続き、ロータリー財団資金推進・管理小委員会に所属することとなりました。上林ガバナーが示しているロータリー財団への寄付額については、ここ数年度と同様の一人年間150ドルを目標としています。

近年、その実績は地区ロータリアンのご協力と各クラブのさまざまな試みによって着実に伸びつつありますが、すべてのクラブが目標額への達成には至っていません。取り組み方、達成方法については工夫を凝らし、努力をされていると思われませんが、いま一度クラブ協議会等での確認をいただき、検討さ

れますようお願いを申し上げます。

今年度も地区補助金は各クラブの要求額に対して満額を決定するに至りませんでした。その比率は150ドルの目標額と実績額との比率に近似の値でもあります。目標額を達成すれば年度の要求内容にもよりますが、この乖離も縮まるものと感じています。

ポールハリスフェローのお願い、財団月間でのこれに対するの指定スマイル等、その他さまざまな試みをお願い申し上げますが、財団の趣旨をご理解いただき、ご賛同いただきますよう重ねてお願いいたします。



7月は全国で記録的な猛暑が続き、これまでの経験値を超える強い日差しが降り注ぎました。

上林ガバナーは熱暑にもめげず、例会訪問、そして表敬訪問に県内を元気に走り続けています。

上林ガバナー 公式訪問記

Governor's Official Visit



※ 各クラブの会員数は2018年8月15日現在です。

ガバナー公式訪問.004

山形ロータリークラブ

創立 | 1950年6月 会員数 | 95名

会長 | 仙道富士郎 幹事 | 沼澤孝典

低い美声に魅了され、仙道会長は上林ガバナーのファンとなった。

満80歳を迎えた仙道富士郎会長率いる山形ロータリークラブは、気持ちだけではこのクラブにも負けないくらい若いつもりでおりますので、暑いなか庄内から山形までお越しいただいたガバナーをたくさんの方でお待ちしております。

上林直樹ガバナーからは、今年度の地区基本理念「ロータリーの原点に戻ろう(BACK TO BASICS)」について、具体的な例を挙げて熱く語っていただきました。またクラブ会員との意見交換においては、基本方針である「パフォーマー(表現活動者)になろう」を実践すべく、健康をテーマにしたクラブ新事業の立ち上げと、例会の充実を図るためのヒントをご教授いただきました。

仙道会長は今日の一日にして、「熱い気持ちを低い美声で淡々と語る上林ガバナー」の大ファンになったそうです。例会後しばらくの間、山形クラブのメンバーたちに囲まれた上林ガバナーは楽しそうに談笑しておられました。

酒田からは久々となるガバナーを山形にお迎えして、和やかな雰囲気の中でのあっという間の充実した1時間でありました。(幹事・沼澤孝典)



熱い志しを低い美声で淡々と語る上林直樹ガバナー



上林ガバナーの大ファンになられた仙道会長と

新庄ロータリークラブ

創立 | 1959年9月 会員数 | 16名

会長 | 長沼 建 幹事 | 京野純司

上林ガバナーへの事前の印象が大きく変わった会長幹事会。

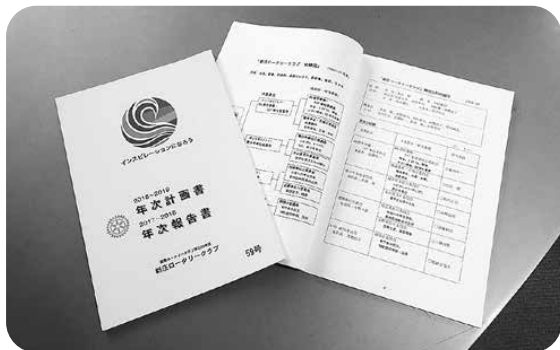
猛暑の続く7月19日、上林ガバナー、檜山ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。県内5番目の早い段階での公式訪問ということで、事前準備に追われましたが、なんとか当日を迎えることができました。

例会前の会長幹事会でガバナーの今年度の基本方針をお聞きしました。上林ガバナーの印象としては、正直申し上げて自分の意見をズバズバとおっしゃる過激な方(失礼!)といった印象を抱いていましたが、実際に話をしてみるととても気さくな方で、ロータリーのこと、仕事のこと、地域のことを話題に話をし、正に「同志! 」という印象を強く持ちました。そんなこともあって予定時刻より30分も延長し、例会の開始が遅れそうになりました。

例会のガバナーの卓話では「メンバーの職業倫理感や価値観、異業種の業界の情報を知るために会員スピーチを多くし、お互いをもっと知り合い、お互いを高め合う例会にしましょう」との言葉が印象的でした。土用の丑の前日の例会は鰻を食べて明日への鋭気を養いながら、エネルギッシュなガバナーのお話をお聞きできました。(幹事・京野純司)



檜山ガバナー補佐を交えた会長幹事会



新庄ロータリークラブの年次計画書

天童西ロータリークラブ

創立 | 1991年3月 会員数 | 19名

会長 | 山崎千芳 幹事 | 渋谷将一

糸をほぐすような丁寧な言葉に、ガバナーの優しさが感じられた。

7月23日に上林直樹ガバナー、天野富雄ガバナー補佐、酒井学ガバナー月信編集委員をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

例会前の会長幹事会では天童西ロータリークラブの今年度のテーマ「愛を奉仕に平和に」について意見交換を行いました。さらには今年度から例会が基本週2回に変わることと会員増強について、上林ガバナーからアドバイスとご助言をいただきました。糸をほぐすように丁寧に話をされ、上林ガバナーの心の優しさが言葉の端々に感じられました。

例会での卓話では、今年度の基本方針である「パフォーマーになろう」について、メンバー一人一人がパフォーマー(表現活動者)となって、あらゆることに積極的に参加し行動を起こすことで多くの方々にロータリーを理解していただき、延いてはそれがロータリーのイメージ向上に繋がるとのお話をいただきました。クラブ会員一同、ガバナーの説得力のあるお話に熱心に聞き入り大いに勉強となりました。心より感謝と御礼を申し上げます。

上林直樹ガバナーの今後益々のご活躍を心よりご祈念申し上げる次第です。(幹事・渋谷将一)



酒井ガバナー月信編集委員にも大いに勉強となった公式訪問



食事の後のひととき、さあ、これから始動!

寒河江さくらんぼ ロータリークラブ

創立 | 1989年6月 会員数 | 41名
会長 | 角田育子 幹事 | 佐藤和典

知識と経験に裏打ちされた、 ガバナーのお話に聞き入った例会。

7月24日(火)、上林直樹ガバナー、小松栄一ガバナー補佐をお迎えて公式訪問が行われました。例会に先立ち開催された会長幹事会では、当クラブの現状や今年度の活動計画などを説明し、上林ガバナーからは会員増強の手法や公共イメージアップにつながる広報の方法などについて具体的なアドバイスを頂戴しました。

例会は出席率100%でガバナーをお迎えし、ガバナーよりRIの今年度のテーマと基本理念、基本方針、また地区の基本理念「ロータリーの原点に戻ろう」、基本方針「パフォーマー(表現活動者)なろう」について説明をいただきました。知識と経験に裏打ちされたガバナーのお話は大変興味深く、面白く、あっという間に30分が過ぎてしまいました。

昨年、当クラブの創立30周年式典に多くのロータリアンの皆様にお越しいただきましたことを会員一同心より感謝申し上げます。新たな一歩を踏み出す今年度は「勇気と希望、創造性をもって立ち向かおう」をテーマに、角田育子会長のもとメンバー丸となってロータリー活動に邁進してまいりますのでよろしくお願いたします。(幹事・佐藤和典)



会長幹事会でアドバイスをする上林ガバナー



100%全員出席の例会で熱く語る上林ガバナー

米沢ロータリークラブ

創立 | 1958年6月 会員数 | 61名
会長 | 太田紀男 幹事 | 安部 功

人生は「どれだけ得たではなく、 どれだけ与えたか」で判断される。

上林直樹ガバナーの公式訪問例会は、7月26日に行われました。ガバナー、ガバナー補佐との会長幹事会では次期会長、次期幹事を含め、米沢ロータリークラブ出席の内3名が地区への出向者で、和やかな雰囲気の中での会長幹事会となりました。

上林ガバナーの例会卓話では、今年度のRIテーマ「インスピレーションになろう」の言葉の意味についてお話をされました。日本語では「息を吹き込む」。人の心に「魂」という「火」を点す人になろうという意であることを強調されました。

さらに、上林ガバナーの地区テーマ「原点に戻ろう」は、職種の異なる会員の卓話で異業種のことを知り、仕事の向上に繋げるのもロータリーの目的であり、最近の例会は会員の卓話が少なくなってきた。人生の価値は「どれだけ得たではなく、どれだけ与えたか」で判断されると話されました。

また、新入会員の勧誘について、例会にオブザーバーとして招き、クラブの雰囲気を知ってもらうこと等が大切とのアドバイスをいただきました。

61年目を迎えた米沢クラブは太田紀男会長のもと新たな年度を刻んでいます。(幹事・安部 功)



会長幹事会に出席したメンバーと



太田会長と新会員の長岡洋子さん、そして上林ガバナー

米沢中央ロータリークラブ

創立 | 1987年6月 会員数 | 41名
会長 | 佐藤知由 幹事 | 小野欣也

ロータリー 甲子園大会で勝利し、 フェイスブックで公開したい。

今年度の佐藤知由会長の重点目標は次の4項目です。1. 例会の充実 2. クラブ会員の増加 3. SNSを活用した広報活動 4. 甲子園での1勝。

最初に取り組んだのはSNSを活用した広報活動です。フェイスブックを立ち上げ、クラブの例会の様子や奉仕活動の写真を投稿して、「いいね!」を各方面の多くの方々からいただいています。

また、重点目標の一つであるクラブ会員の増加については、上林直樹ガバナーは公式訪問のお話のなかで、会員増強委員会だけに任せては増強不可能であり、会員一人が一人の仲間を増やすこと、会員全員で取り込むことが大切とアドバイスをいただきました。佐藤会長は今年度に3名の会員増加を目標掲げています。会員全員の協力のもとに必ずや達成できることを確信しています。

全国ロータリークラブ甲子園野球大会が9月17日(月)に開催されます。大会に出場するメンバーが勝利に向けて練習に励んでいます。今大会でまずは1勝しフェイスブックで公開したいと考えています。多くの仲間たちと魅力あるロータリー活動をさまざまに楽しみたいと思っています。(幹事・小野欣也)



会長幹事会のメンバーで



昨年、米沢市の皆川球場での甲子園野球大会(東北親睦大会)

長井ロータリークラブ

創立 | 1962年6月 会員数 | 30名
会長 | 遠藤伴明 幹事 | 那須 修

ガバナー曰く、「やる気を出して もらうための公式訪問」であった。

長井ロータリークラブは、2022年に創立60周年を迎える伝統あるクラブですが、今年度は遠藤伴明会長のもと、さらなる将来を見据えた活動を行っていきたくと考えております。しかし、若い世代の入会者が少なく、今後のクラブ運営に不安があることも事実です。そこで、当クラブでは上林ガバナーが掲げた地区活動方針に則り、会員2名の純増を目標とする会員増強の活動計画を立てましたが、具体的な活動を実際にどのように行っていけばよいのか、悩んでいたところでした。

そのようななかで迎えた7月31日の上林ガバナーの公式訪問でしたが、ガバナーから、例会での会員卓話による異業種の仕事の価値の再発見や地区補助金の活用によるロータリーイメージの向上など、私たち自身がロータリーの価値に気づき、それを対外的に発信することが会員増強につながるなど、入会勧誘時のヒントとなるお話を聞くことができ、当クラブにとって大変有意義なガバナーの訪問となりました。上林ガバナーは、「やる気を出してもらうための公式訪問」とおっしゃっていましたが、まさにその通りの例会となりました。(幹事・那須 修)



クラブ運営に役立つ多くのアドバイスをいただく



やる気を出してもらうためのガバナー卓話

●7月4日(水) 酒田市長表敬訪問

第1ブロックAG | 進藤芳明

第1ブロックからガバナーを輩出するにあたり、ロータリーの新年度スタートと同時に酒田市長丸山至氏に表敬訪問をいたしました。当日は、上林ガバナー、本間事務局長および第1ブロック5クラブの会長・幹事と総勢13名で市長応接室で面会をいたしました。

上林ガバナーから国際ロータリー第2800地区の現況と今年度の方針等を説明いたしました。また、10月に酒田市を会場に行われる地区大会について酒田市の協力をお願いするとともに、大会内容をお話したところ特別記念講演の野口健氏について興味を持たれ、一般市民にもぜひ聞いて欲しいとの要望がありました。

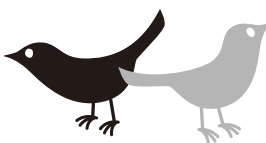
丸山至市長は、酒田クラブ、酒田東クラブの名誉会員にもなられていることから、熱心に上林ガバナーの話に耳を傾けられていました。



丸山至市長にガバナー月信を手渡す上林ガバナー

上林ガバナーの 表敬訪問デイズ

by Assistant Governor



- 7月4日(水) 酒田市長表敬訪問
- 7月12日(水) 寒河江市長表敬訪問
- 7月13日(水) 天童市長表敬訪問

●7月12日(木) 寒河江市長表敬訪問

第4ブロックAG | 小松栄一

寒河江ロータリークラブ公式訪問の前に上林ガバナーは寒河江市役所を訪れ、佐藤洋樹寒河江市長を表敬訪問されました。アルピニストの野口健氏を来る10月21日に開催される地区大会の特別講師としてお招きし、バリー・ラシンRI会長が強い関心を抱く環境問題をテーマに講演をいただくことをアピールしました。

また、寒河江クラブが青少年交換に長年尽力してきたことにも触れられ、上林ガバナー自身もGSEやハンガリーからの交換学生受け入れを体験し、今後も青少年交換を積極的に推進したい意向の話がされました。

その後、酒田と寒河江の共通項として高速交通網の

話題に移り、今後の整備と発展が地域の活性化に強く結びつくとの認識を再確認して、佐藤洋樹市長としばらくの時間親しく懇談することができました。



佐藤洋樹市長を囲んで表敬訪問スタッフ

●7月13日(金) 天童市長表敬訪問

第3ブロックAG | 天野富雄

去る7月13日(金)に天童市長を表敬訪問いたしました。天童市から山本信治天童市長、新関天童副市長の2名、ロータリークラブからは上林ガバナー、天童市の3クラブの会長、幹事、高橋地区資金委員長、天野ガバナー補佐の9名が出席し、市長室にて行われました。

上林ガバナーからは地区大会のチラシ、ガバナー月信を手渡し、ロータリークラブの意義と活動についてあらためて紹介をさせていただきました。

山本市長は天童西RCの初代、2代会長ということもあり、RCの現状や将来展望等について話が弾みました。また、住みよいまちランキング第1位の天童市の

現状、山形県の空港事情、高速道路、新幹線、そしてドーム運動施設等に話がおよび、和やかなうちに時間が過ぎ、30分超の有意義な表敬訪問となりました。



山本市長に地区大会のチラシを渡す上林ガバナー

米山奨学生から届いたメール①



権 妍珍

グオン ヨンジン

東北芸術工科大学(学部3年) 出身国/韓国

世話クラブ/東根ロータリー

サブ世話クラブ/天童東ロータリー

米山奨学生として、東根ロータリクラブにお世話されている東北芸術工科大学芸術学部美術学科洋画コース3年のグオン ヨンジンと申します。

私は人々が意識していない社会問題や潜在する可能性を美術を通して変えていきたいと思っています。未来をよりよい方向に作り上げていくため自分の能力を社会に貢献したいと思い、日本で美術の勉強をするよ



うになりました。

日本と韓国は近くて遠い国だと言われています。それは両国の多くの人々はネットやテレビなどで流されているお互いの短編的な面から判断し、偏見を持っているからではないかと思えます。

私は日本に留学し、アートワークショップを行うなかでさまざまな年代の方々とふれ合える貴重な機会をいただき、コミュニケーションの大切さに気づきまし



た。お互いのことを知り合い、理解することでよりよい方向に進むことができるのではないかと考えています。今年度から米山奨学生になって定期的に例会や学友会に参加させていただき、「私と日本」についてより深く考えながら、社会に自分の能力をどう貢献していくかを意識するようになりました。

私は日本で児童関係の仕事を目指として、子供がアートを通じて他人とのコミュニケーションがとれようように手助けをしながら、きっかけ作りができる場を増やしていくことを目指しています。さらに日本の親子と韓国の親子が交流し、お互いコミュニケーションができる場を企画したいと考えています。これまで私が学んできた「芸術」を通してどのように社会と繋がるのか、課題解決に向けて両国を繋ぐ架け橋のような役割として自分の力を試していきたいと思っています。

米山奨学生から届いたメール/私が山形の親代わり!

私が山形の親代わり!

カウンセラー
[東根ロータリークラブ]

矢口信哉

Nobuya Yaguchi



外国の若い人と語り合えるのはロータリーならではですよ!

日本での気軽な話し相手になれば、嬉しいかぎりです。

一昨年からクラブの米山奨学委員長をつとめております。一昨年、昨年とサブ世話クラブとしてモンゴルのガリド君、韓国の李君にはそれぞれ2回ずつ例会に参加してスピーチをいただきました。

米山奨学会事業は、「平和日本を世界へ」国際親善と世界平和に寄与する留学生を支援する日本最大の民間による国際奨学事業で、ロータリーの奉仕活動の中で、日本のロータリアンが作り育てた世界

に誇れる事業であることと理解と認識を会員の皆さまから深めていただいたと思います。

今年度は世話クラブのカウンセラーとして韓国出身の権さんの大学生生活をサポートさせていただきます。とりあえずは私自身、日本での気軽な話し相手になればいいなと思っています。

さまざまな国の若い有為な学生たちと親しく言葉を交わして語り合えることはロータリーならではの素晴らしい体験です。クラブ例会等に米山奨学生のスピーチをぜひご活用いただき、クラブの国際交流の輪をさらに大きく広げる契機としていただければ嬉しく思います。



Monthly Report.001

青少年交換学生
マンスリーレポート



ブラジル便り



春日七虹

Nanako Kasuga

寒河江高等学校
スポンサーRC / 大江RC
派遣国 / ブラジル(クリチバ)
報告日 / 2018年7月27日

こんにちは。日本はプールに入るのが気持ちのよい気温になっているかと思います。ブラジルは肌寒い日が続いています。

私は7月15日に日本を出発して、カタール・サンパウロを経由し2日間かけて無事にクリチバに到着しました。(中略) 空港には多くの皆さんが迎えてくれました。「Nanako, Nanako」とコールしてもらい思わず嬉しくなりました。第1から第3ホストファミリーの皆さんとロータリアン、そして私と交代になるNaomiちゃんも来てくれました。



ブラジルでの生活が約2週間経とうとしています。ブラジルに着いて最初の頃は話がまったく聞き取れず、何を言われているか分かりませんでした。日本にいる間は日常会話などの勉強はしましたが、実際ネイティブが話すポルトガル語を聞くと、早すぎて理解できませんでした。それでもたくさんの人に教えてもらい、子供のためのテレビ番組を見たりして、いまでは少し耳が慣れてきて聞き取れる単語が増えています。

間違うのが恥ずかしいと思っていましたが、ブラジルに来て、間違いを恥ずかしがってはいつまでも話せるようにはならないと思い、わかる言葉を使って頑張って会話をしています。母国語ではないのだから間違わないで話す方が無理だとお父さんが言ってくれて、間違ったときは優しく教えてくれます。ポルトガル語をできるだけ使うように心掛けていると、お父さんに「ななこ、ポルトガル語話せるようになってきたね」と褒めてもらえました。以前、山形にインバウンドとして来ていた Nelson の家が第1ホストファミリーをしてくれています。

ブラジルの学校は朝始まるのがとても早く、Nelson は7時前にお父さんと家を出ます。私はお母さんと買い物に行ったり、ご飯を作ったりなどして過ごします。

(中略) 今週は初めて地区の集まりに参加しました。留学生とのホストファミリーとの懇談でした。私は第4ホストファミリーの方とお会いしてお話をしました。私のホストファミリーは皆さんほんとに感じの良い方ばかりで今後の生活が楽しみになりました。私が一番早く到着して留学生たちとはまだ会えませんが、たくさんの留学生が集まると聞いたのでとても楽しみです。

ブラジルでは楽しいこともたくさんありますが、文化の違いなどまだ慣れないことも多くあります。ブラジルでは歩行者は信号が赤でも車が来ないと渡りま



す。すごく危ないと感じました。もう一つはスリ。実際にスリに遭っている人を見ました。(中略)

ブラジルではアジア系の顔をしている人はみんな中国人だと思われて嫌だなと思う人がいると聞きましたが、私は日本人だと云うと、日本はすごいいい国だねって笑って話してくれます。日本はブラジルでも人気がある国だと知りましたが、差別や偏見もあることも知って少し悲しくなりました。

しかし、とてもいいなと思うこともあります。まずは何でもレディーファーストなところ。店の入り口ではドアを開けに男性が来てくれます。ブラジルでは街中で、「ありがとう」の意味の「Obrigada」が飛び交っています。いろいろな人があいさつをしてくれます。ブラジルではハグをしてほっぺにキスをしますが、私はまだ慣れていません。国が違うので文化の違いがあるのは当然です。早く慣れたいと思っています。

8月からは学校が始まります。Naomiちゃんと遊ぶ約束もしています。一日一日を大切にして充実した生活を送りたいと思います。そして早くポルトガル語を話せるようになってたくさんの人に日本のことを紹介したいと思います。来月にはもっと成長した様子をお伝えできるように頑張ります。

新 入 会 員

ご入会おめでとうございます。



所属／寒河江
職業分類／食料品製造
工藤 裕之
Hiroyuki Kudou
[2018年7月入会]



所属／寒河江
職業分類／郵便局
渡辺賀代子
Kayoko Watanabe
[2018年7月入会]



所属／酒田
職業分類／イベント企画
高橋 弘哉
Hiroya Takabashi
[2018年7月入会]



所属／長井
職業分類／電力業
寒河江良一
Ryoichi Sagae
[2018年7月入会]



所属／新庄
職業分類／結婚式場
高橋 辰明
Tatsuaki Takahashi
[2018年7月入会]



所属／新庄
職業分類／電力供給
遠藤 裕之
Hiroyuki Endo
[2018年7月入会]



所属／新庄
職業分類／電気工事
小野寺 洋
Hiroshi Onodera
[2018年7月入会]



所属／高島
職業分類／電機機器組立
根津 貞雄
Sadayo Umetsu
[2018年8月入会]

表 彰

表彰おめでとうございます。



第27回米山功労者
メジャードナー
小松 栄一
Eiichi Komatsu
[寒河江]



第4回マルチプル
ボール・ハリス・フェロー
金内 晴一
Seiichi Kanauchi
[米沢中央]

【地区委員の変更と追加のお知らせ】

【変更】職業奉仕委員会に、寒河江RCの奥山吉一様が委員となりました。

【追加】青少年奉仕委員会のRYLA小委員会に、河北RCの和田義弘様と

酒田中央RCの大谷正樹様が新たに委員となりました。

上林直樹ガバナー事務所の
フェイスブックをご覧ください！



お盆前の8月中旬に上林直樹ガバナー事務所のフェイスブックを開設しました。

各クラブからガバナー月信編集部に送られてくる写真や記事、各種セミナー、青少年交換、米山奨学生のイベントなどを適宜掲載したいと思います。ロータリアン以外の方々にも気軽にご覧いただき、ロータリー活動への理解と認識を広げ、会員増強にもつながればいいね!と考えています。

立ち上がったばかりでロータリアンから

の「いいね!」がまだまだ少ないように思われます。クラブ内のロータリアン、ロータリアン以外の方々にもぜひ告知をいただき、数多くの「いいね!」をお待ちしています!



<http://www.facebook.com/ri2800.kanba>



Governor's Monthly Letter

Rotary International
District 2800 2018-2019

ガバナー月信 003

基本的教育と識字率向上月間
ロータリーの友月間

Schedule of September 9月のスケジュール

日 曜	主要な行事	
9/1 土	●クラブ奉仕セミナー(酒田)	
2 日		
3 月	●G公式訪問[中山] ●表敬訪問(中山町長)	GETS ↓
4 火	●G公式訪問[山形中央]	
5 水	●G公式訪問[鶴岡東]	DTLS ↓
6 木	●G公式訪問[酒田東]	
7 金		
8 土		
9 日		
10 月	●G公式訪問[山形西]	
11 火	●G公式訪問[山辺]	
12 水	●G公式訪問[酒田]	
13 木		
14 金		
15 土		
16 日		
17 月	(敬老の日)	
18 火	●G公式訪問[最上]	
19 水		
20 木		

日 曜	主要な行事	
21 金		
22 土	●第2回青少年交換オリエンテーション	
23 日	(秋分の日)	
24 月	(振替休日)	
25 火		
26 水	●G公式訪問[天童東]	
27 木	●G公式訪問[東根] ●表敬訪問(東根市長)	
28 金		
29 土	地区大会(2780地区・青森)	↓
30 日		
10/1 月	●G公式訪問[鶴岡西]	
2 火	●G公式訪問[鶴岡] ●表敬訪問(鶴岡市長)	
3 水	●G公式訪問[小国]	
4 木	●G公式訪問[高畠] ●表敬訪問(高畠町長)	
5 金		
6 土	地区大会(2840地区・群馬)	↓
7 日	●第2回RAC会長・幹事会	
8 月	(体育の日)	
9 火		
10 水	●G公式訪問[尾花沢中央]	



(写真左より) 最上川と日本海の夕日 | 旧本間家本邸 | 相馬樓

Rotary



ガバナー事務所
〒998-0854 山形県酒田市末広町7-1 鐵工会館内
tel.0234-28-8604 fax.0234-28-8614
e-mail: ri2800kanba@email.plala.or.jp
http://www.facebook.com/ri2800.kanba

地区事務所
〒994-0027 山形県天童市桜町2-20
tel.023-687-0208 fax.023-687-0209
e-mail: ri2800@muse.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.ri2800.jp

表紙写真 | 佐藤善友

酒田港に昨年から大型客船の寄港が相次ぐ。
イタリア船籍のコスタネオロマンチカ。インバウンドは
果たして地域活性化の切り札となりえるだろうか。